長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号
長崎高教組会館
長崎県高等学校教職員組合
☎ (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 小田 誠
購読料一部10円
組合員は組合費に含む
メールアドレス
naga-kks@fsinet.or.jp

春闘山場に向けて 地域で 職場で とりくみを展開中

県春闘共闘が地域総行動を展開（2月15日）

17春闘は、回答集中日である3月15日に向けて、各労働組合でとりくみが展開されています。

長崎県春闘共闘では、2月15日に地域総行動として、長崎駅前・三菱長崎造船所前・長崎市役所前での早朝宣伝行動から、長崎県経営者協会と長崎労働局への要請行動、共謀罪反対の街頭署名活動、夕方の闘争宣言集会まで、終日、とりくみを展開しました。長崎高教組も本部執行部を中心にそれぞれのとりくみに参加しました。

経営者協会への要請行動では、大幅賃上げとともに長時間労働の是正など労働者を大切にした経営を、労働局への要請行動では、「残業代ゼロ法案」の撤回や非正規雇用労働者の正規雇用化の促進等を求めました。

長崎駅前での早朝宣伝行動

ハマクロス前署名活動

経営者協会への要請

闘争集会では、要請行動の報告とともに、7つの単産・単組から決意表明が行われ、民医労や郵政ユニオンからは、ストライキを構えることも含めて春闘を闘う決意が述べられました。

職場集会を開催して春闘要求についての討議をすすめよう

高教組は、2月8日付けで、春闘要求の素案を各分会に組合員数で送付し、職場集会で討議することをよびかけています。春闘要求の提出は、県教委に対する1年間の要求運動のスタートになります。組合員同士が集まって職場の中の問題を議論することは組合活動の土台です。各職場とも多忙な中ですが、本部役員選挙の投票と合わせるなどの工夫もしながら、職場集会を開催しましょう。

また、3月16日には、臨時的任用職員や非常勤講師の待遇改善などについての県教委交渉も予定されています。各職場で、臨時的任用職員や非常勤講師との対話をすすめ、要求を聞き取るとともに、組合活動に対する理解を広げましょう。

前号に続き、第128回中央委員会での討論の紹介

B 教職員の生活と権利、平和・民主主義にかかわるとりくみ

虹の原特支対馬分教室（支部長）田中中央委員

ゆいまーるの様子をスマホで流した。首里城の様子や2000円札が使われていることなど、楽しく伝えた。しかし、「仕事をしている先生もいるのだから、こんなことは『こっそり楽しむものだ』」という書き込みがあり、ショック。休みの日に楽しんだり、学習をしているのに・・・。働く者の権利について啓発をする必要を感じた。

諫早農業　深松中央委員

「ブラック部活」、「ブラック部活顧問」などの語がマスコミに登場するように、部活動についての問題が提起されている。部活動では休みをつくる視点が必要ではないか。「ノー部活動デー」の設定がなされているが、現実には部活の休みはとっていない。長くやれば成果が上がるという考え方が問題。超勤も同じ問題。組合で集中的に論議してほしい。

佐世保商業　井野口中央委員

運動部では勝ちを求めて指導し、よい成績を上げると喜びや生徒の成長もあり、もっと、もっとと際限なくなってしまう。部活動で超勤80時間越えや100時間越えという状況になるが、競技の専門家は勤務なのか、ボランティアなのか分からなくなっている。高校の部活動の実態について、交流する機会をつくるべきでは。

佐世保中央夜間　濱本中央委員

自分が経験したスポーツの部活顧問をしているときは、長時間の指導もきつくなかった。しかし、経験のない部活顧問を行っていたときには、ケガの危険性もあり練習には付き合ったが、特別に指導することもできず、苦痛の3時間を過ごしていた。顧問としての仕事は、大会の時の送り迎えが主であった。野球のWBCの投球数制限と同じように、制限が必要になってきていると思う。

佐世保工業　日高中央委員

体育の教員として耳の痛い、考えさせられる問題である。自分は専門の陸上の指導を担当していて、幸いなことに部活動は苦ではなくむしろ楽しみである。苦になっている先生方がいることは事実。再任用の制度が定着したが、若い人の採用が少ないのは一つの問題で、再任用制度と部活動指導者の問題を解決するために、部活動に特化した再任用を考えてもいいのではないかと考える。

佐世保中央夜間　濱本中央委員

夜間定時制では、入試の時期には朝9時から願書の受付が始まる。教務や事務の担当者などは朝から夜までの勤務となっている。勤務時間を変えるなどしていないし、当たり前のように朝から夜まで勤務をしている先生がいる。側で見ていてかわいそうになる。願書受付を午後からにすることなど考えたらよいが、うまくいっていない。

虹の原特支対馬分教室（支部長）田中中央委員

本日欠席の分会の中央委員からの手紙を代読します。

女性職員の人事異動に対する質問です。本校で異動対象者の二人が妊娠中です。妊娠中の人事異動はないということで、困惑しています。妊娠中であると異動できないというのはおかしいのではないでしょうか。二人は3月と5月から育休に入る予定ですが、離島では代替教員を探すのも難しく、むしろ代替を確保しやすい本土に移して、育休に入ることはできないのでしょうか。

佐世保商業　井野口中央委員

人事異動に関わって、組合の存在価値を示すにはよい材料。組織拡大にはよい材料。

島原商業　伊福中央委員

数年前に対馬に勤務していたとき、同じような事例があった。離島勤務は若い人が多いので、妊娠、産休、育休などに関わって問題になることがあった。高校ではないのですが、産休の先生が重なってしまい、代替教員が入ったがうまくいかず混乱したと聞いた。転勤させて、正規の先生を配置させたらうまくいったのにと感じた。

人事での成果を示すとよい。トランプではないが、組合員ファーストをしっかりだすのもよいのではないでしょうか。組合に入っているメリットをしっかり出していくのがよいのでは。

佐世保工業　日高中央委員

人事異動問題で、人事委員会審理を10年前にやった。人事異動に疑問を感じていてもどこに訴えればいいか悩んだ。組合員でない人は泣き寝入りしたかもしれないが、組合が対応してくれて、本当に感謝している。組合は、保険。何もないときにはそれでいいのだが何かあったとき助けてくれるものだ。そして、言いたいことが言える点も組合の良さだ。

大会宣言のポイント

- ○「教え子を再び戦場に送るな」の誓い
- ○政治権力の教育介入に反対
- ○長時間過密労働の解消
- ○高教組の拡大・強化のための団結と奮闘

C 民主教育、教育条件整備のとりくみ

小浜　菅中央委員

非常勤で勤務している。作問料や採点料が出ていないことに気付いていたが、自分では言いにくかった。組合の号外で支払いについて明記されており、事務長に話すと、自分も号外を見たが県教委から連絡が来ていないといわれた。本部に連絡するとすぐに、県に直接学校を指導することを求めてくれた。その結果、県教委から学校に連絡があり、作問料、採点料がついた。組合に感謝している。

西陵（諫早支部書記長）　錦戸中央委員

民主教育推進委員会より、3月5日の「子どもと教育を考えるつどい」について紹介する。「奨学金」のテーマで、貸与型奨学金の問題、給付型奨学金の状況や問題などについて基調報告をうけ、高校での奨学金、大学・専門学校等での奨学金の状況、そして奨学金返還の苦しい状況などを情報を交換する。教職員組合として奨学金の問題についてきちんと考えていきたい。午前中の「ゆいまーる・しゃべり場」と連続して参加してほしい。また、通級学級について、今後考えていきたい。

佐世保中央夜間　濱本中央委員

2018年度から佐世保中央夜間部にエンカレッジコースが新設されることについて報告する。昨年9月の臨時職員会議で校長から突然発表があった。午後の時間に授業を設定し、午後の授業帯で普通科と商業科を開設し、従来の夜間の時間帯に普通科を開設する。商業科を残すためにエンカレッジコースを導入するということであった。県の指導で準備委員会が詳細を決めつつあるが、夜間部の教員は、1時の出勤から10時前の退勤までずっと授業をすることになるのではないかと心配している。校長交渉を継続してやっていきたい。

川棚特支　石橋中央委員

フッ素が虫歯を予防するとして、条例がつくられ学校でフッ素洗口が進められている。安全性や有効性に疑問がある。4年前に策定された「歯なまるスマイルプラン」では対象外になっていた特別支援学校でも、最近、県が実施を強く求めてきています。特支の子どもはうがいができない子も多いし、他県では事件が起きている。養教専門部は県との交渉で、実施を各特支に判断させてほしいと要求したが、安全として拒否された。「保健便り」に書くのも工夫がいる。劇薬指定のフッ化化合物を学校に入れる問題、条例を盾にトップダウンでせまる非民主的なやり方は大いに問題がある。

佐世保商業　井野口中央委員

人事評価の賃金リンクの問題について、沖縄県で賃金リンクが来年度から始まると聞きいた。また、大分県はすでに4月から始まっている。大分県では本俸にも差がついているらしい。九州各県の賃金リンクの状況について交流をして、知らせてほしい。人事評価の賃金リンクについては、頑張っている人には厚くと言う意見もあったり、年功序列型の賃金に不満を持つ若い人もいる。勘違いだと思っているが、賃金リンク導入は突然来る。本部に情報収集、対応をお願いしたい。

団結ガンバローで閉会

諫早湾干拓問題の話し合いを求める賛同署名ありがとうございました

1月10日付けで要請した署名に対して、「諫早湾干拓問題の話し合いを求める会」の横林和徳さん（元高教組委員長）からお礼が届きました。要約して紹介します。

高教組で集められたたくさんの賛同署名を受け取りました。大変感激しています。署名数は1600筆を超えました。高教組の値打ちが発揮されていることを実感しました。

私たちは今、地域訪問で対話をしながら署名活動をすすめています。対話の中では、様々な意見が出ます。開門に反対の住民の多くは、低平地で過去の浸水被害の記憶があり、干拓が出来て浸水がなくなったと信じています。しかし、一方で干拓ではなく、32年水害以後の敷地の嵩上げや大きな排水ポンプが出来て浸水がなくなったと言う人も多くいます。何が真実か、住民間でも共有されていません。

また、裁判を行っている漁業者は金目当てで開門を要求しているとか、干拓事業と浸水対策は別問題なのに、国や県が潮受け堤防の展望台等に掲げている「干拓事業は32年の大水害のような被害から守る」という宣伝に影響されて、開門すると以前のように浸水すると思っている人がいるなど、情報の偏りによる誤解があります。しかし、丁寧に対話をすすめると、開門賛成・反対を別にして多くの方が署名してくれます。

「話し合いの場を求める会」は、開門調査に関わる様々な誤解、疑問を持ったままで、開門賛成・反対が主張されることは不幸と考えます。住民対話をすすめながら、共生の道を目指すために「話し合いの場を求める」賛同署名を広げ、関係団体に話し合いを要請する予定です。

支部・分会便り

【西彼支部】

2月16日に食事会と支部会議を10人（本部1人を含む）の参加で行いました。宮崎前支部長さんから、支部会計について説明と、諸会議参加の交通費、手当等の支出規定の説明があり、今後の支部会計の見通しが提示されました。再任用者自身から支部費の徴収の提案がありました。特別会計について質問があり、支部費収入での単年度会計を見直し、特別会計をなくし支部費の中に組み入れ、繰り越しをしながらやっていったほうがよいという意見が出ました。再任用の支部費徴収や特別会計の廃止などについて、次回の分会長会で一定の方向を提示し、決定することになりました。

その後、レストラン菊水さんの心づくしの食事を楽しみました。西彼農業高校で栽培した旬の野菜、ほうれん草のおひたし、デザートとして真っ赤に熟れた旬の果物いちごも出され、季節を味わいました。

食事の合間に、支部会計問題の根本的解決のためには組織の拡大が不可欠として、「冬の陣」のとりくみ、総当たりの完遂、臨採・非常勤教職員の待遇改善の県教委交渉のためのアンケートの実施などが確認されました。

職場の状況について自由な発言がなされました。

①生徒会のクラブ予算の大幅な減少
②高総体さえ半額は生徒の自己負担
③試合時間に間に合わせるため朝早くに生徒を集合させて顧問が搬送
④公共交通機関がなく保護者が送迎
⑤保護者がダメなら顧問が送迎
⑥朝3時から夜9時の送迎も
⑦顧問をするため資格を取得
⑧顧問が試合の審判

などなど、生徒会活動や部活動に関わるさまざまな問題状況が異口同音に語られました。

【長崎支部の分会】

「一太郎」顛末記

とある秋の日、事務室より、今年度末に更新されるパソコンからは、「一太郎」はインストールできないという連絡がありました。近年、校内文書はワードでの作成に統一されようとしているのが現状ですが、まだまだ「一太郎」で作成、引き継がれてきた文書は多く、特に漢字に気を遣う国語科や地歴科では「一太郎」の需要は高いため、情報担当者は事務室に確認を行いました。事務室からの説明では、長崎県のパソコンにインストールするワープロソフトはワードに限定するという規定があるので、そうせざるをえないとのことでした。

分会長でもあった担当者は、分会で話題にし、すでに「一太郎」のインストールができなくなっている学校もあるとの話もあったため、本部に相談しました。さっそく本部は、県教委の担当者に確認を取りました。県教委からは、県庁の規定ではワープロソフトはワードの使用が基本であるが、学校においては県民に対して必要性を説明できるのであれば「一太郎」の使用を妨げないとの回答がありました。

この回答を受けて、事務室に相談したところ、本校としては、新しく「一太郎」ソフトを購入することはできないが、現在の「一太郎」のライセンス数を調べて、その範囲内で「一太郎」をインストールして使用することはできるとの確認がなされました。

使い慣れないワードとの格闘に時間をかけるよりも、使い慣れた「一太郎」で文書処理は短時間で済ませ生徒との対話に少しでも多くの時間をかけられるならば、必要なコストのような気がします。